

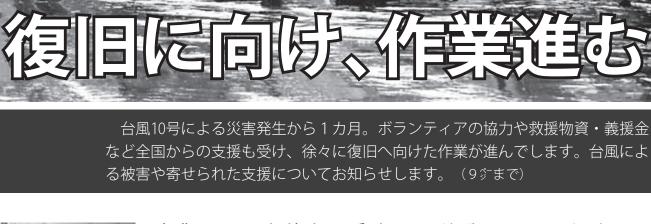
1/弘前大学ボランティアセンターと弘 前市ボランティア支援センターが連携し 「チームオール弘前」としてボランティ ア活動を展開 2/店舗から運び出した する久慈中学校美術部の生徒 5/十八 日町の店舗で陳列棚の泥を丁寧に拭き取











洋野町からも大野中学校の1年生

越えていけたらと思います」

被害を受けた人は大変だ

員OBらが結成。熊本など各災をきっかけに関東の消防職 地の災害に駆けつけていると 开義司隊長)は、東日本大震 に訪れた人たちもいます。 から18日にかけて活動した訪れた人たちもいます。12 います。久慈では10人のメ ムチー ム「集結」(田 遠方から支援



けでやろう』と思うと、どう

しても大変になってしまうの

まずは相談してみること

出て気分転換もしながら、 か大切。家にこもらず、

個久慈市災害ボランティアセンター (久慈市社会福祉協議会内) **23** 53

-3380 0

また、被災を受け、ボランティアの支援が必要な方は、 た、被災を受け、ボランティアの支援が必要な方は、災ボランティアに参加していただける方を募集しています。

ボランティアの募集・

平谷忠さんは「『自分たちだ 店動を終えて、
 敤者から感謝の言葉を受けて 似をはがすなどの技術が必要 仕事も手際よくこなし、 一週間にわたる メンバーの



■遠方からの支援も

ボランティアが支援 の皆さん。

ゕランティアによる支援活動 ります。この作業を支えていけた作業が徐々に進みつつあ発災から一カ月、復旧に向 のが市内外から参加したボ 日に災害ボランティア トしました。 翌日から 市では、

委員からの連絡や、 までに延べ3125人。民生 の要請に基づいて住宅や商店 したボランティアは9月26日 同センターを通して、活動 家財の移動などの支援 住民から

を決めました。 で助けよう』とクラスで参加 **呶の役に立ちたい』『みんな** と感謝しきり。 に頑張ろう』と思えました」 ていただいたことで『諦めず にだただ助かります。 **まりの作業量に途方に暮れて** 倘地区の住宅で、 ~必要だと先生から聞き、『地 **全拓也君は「ボランティア Ľ頼した三角賢俊さんは「あ** たので、人手があるのは 撤去や室内の清掃などを実 いと作業が進みませんでし しました。ボランティアを 実際にやって 学級委員長の 堆積した泥 して中 手伝っ

大川目中学校では、9月7日作業を後押ししています。

|若い力が後押し

高校生ら若い力も



室内の床や壁面を清掃する大川目中

3 広報くじNo.254 2016.10.1号 2